

かわら版

第1号



石川和久（40歳）
山武市議会議員
35歳で初当選、現在2期目

上横地1020-3
0475-51-4803
ishikazu.sammu@gmail.com
HP: ishi-kazu.com

新型コロナウイルスの感染予防及び拡大防止のため、令和2年山武市議会第2回定例会における議会の対応について5月15日に議会運営委員会が開催されました。対策としてマスク着用、消毒、検温等の実施、関係部局等の職員のみへの対応などを行い、しっかりとした対策のうえで開催される運びとなりました。

その中で、一般質問については中止となりました。私は非常に残念です。

一般質問とは議員個人が、市の事務の執行状況や将来の方針などについての報告や説明を市長などに求め、市が適切な市政運営をしているかチェックするものです。

このように私たち議員は、二元代表制のもと、市政運営のチェック機能を果たしつつ、市民の代表者として市民ニーズを反映させるなどの重要な役割を担っています。一般質問は、定例会において議案審議に次いで大切な日程であり、職員もその対応は重要な業務であると認識していると思います。もちろん一般質問がなくなれば楽になると思いますが、一般質問などの通常業務も踏まえて、与えられた環境の中で最も早く申請・給付ができるよう取り組んでいたいただいと認識しております。私たち議員も与えられた仕事をしっかりと行うべきです。新型コロナウイルスの影響で様々な行事がなくなり、皆さんのお役に立つこともできず非常に歯がゆい思いです。今後、このような事がないように災害時等の市議会業務継続計画(BCP)を策定し、大規模な災害等が発生した非常事態においても議会が機能する体制を整えておく必要があります。

そのような中ですが、引き続き議員の仕事を怠らず、できる限り情報発信してまいります。今回は予定していた一般質問の一部についてのおはなしです。

新型コロナウイルス感染症対策について

災害時の対応(避難所の運営について)

「このコロナ禍の中、万が一大地震とか災害が起こったらどうするのだろうか?」

昨年の台風や大雨による自然災害を私たちは今でも鮮明に覚えています。新型コロナウイルス感染症と戦っている今の私たちに、対応できるだろうか?

このような心配をされる市民の声を多く聞きます。担当職員の方々は通常業務に加え感染症対策、さらに災害時の対応を検討することは非常に大変だと思えます。しかし地震などの自然災害はいつ起きるか分かりません。災害時に感染症の対策も考えて取り組むことは想像以上に厳しい状況になる可能性があります。今からその状況をシミュレーションし対策を考えておく必要があるのではないのでしょうか?

避難所の運営については、4月7日に内閣府の「避難所における新型コロナウイルス感染症への対応について」の留意事項が通知されたことを受け、山武市を含む各自治体では留意事項を整理しHP等で周知されています。もちろん市においても対策は考えていると思います。しかし、今災害が起きたら本当に**対応できるの?みんな避難所の感染対策の事、理解してる?対応方針など作ってるの?**などの不安があります。

私たちも災害と新型コロナウイルスの脅威から命を守るために、今から準備することが大切です。

市議会の取り組み

山武市議会では未曾有の大災害等に備えて、令和2年第一回定例会において、防災に関する特別委員会を立ち上げ、市の災害対策本部と連携し災害対策活動を支援するとともに、議員自らが迅速かつ適切な行動ができるように、市議会災害対策支援本部設置要綱及び市議会災害対応指針の策定に取り組んでいます。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について

国が創設した「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」は、全国で総額1兆円の予算が計上されており、各自治体が交付金申請に向けて実施計画を策定中です。山武市では約2億2千万円の交付限度額が決定したようです。

国が示した使途によると、地域の实情に応じて感染拡大の防止策や医療提供体制の整備、経済対策や住民生活の支援、教育支援などに充当する事とある。そのような中で、市は新型コロナウイルス感染症対策として**一番やらなきゃいけないことは何と認識しているの?市民が何に困っているか理解しているの?**それを踏まえて何にお金を使うの?という事です。

市民の為、山武市の為に**適時、適切なお金の使い方**をしなければなりません。計画については今の段階では市から示されていませんが、しっかりとチェックし、必要なことは提言してまいります。

その他、農業施策としてジャンボタニシの対策についてなどございましたが割愛させていただきます。